

第 74 回 『アーガメイト 20%ゼリー25 g』

アステラス製薬株式会社 宮崎様

出席者：作佐部、松本、近藤、生越、佐藤、小西、木元、阿部、伊藤、佐藤、水谷

腎機能が正常であれば必要量を上回るカリウムは尿として排出されるが、慢性腎不全など腎機能が低下している場合、排出されるカリウムの量は少なくなり、余分なカリウムが血液中に移行し、血中カリウム血が必要以上に高くなる（高カリウム血症：5.0mEq/L 以上）。

アーガメイトゼリーは高カリウム血症を改善する薬剤である。

【効能・効果】

急性および慢性腎不全に伴う高カリウム血症

【用法・用量】

通常成人 1 日 75～150g（ポリスチレンスルホン酸カルシウムとして 15～30g）を 2～3 回にわけ、経口投与する。なお、症状により適宜増減する。

【禁忌】

腸閉塞の患者 [腸管穿孔を起こすおそれがある。]

【慎重投与】

1. 便秘を起こしやすい患者 [腸閉塞、腸管穿孔を起こすおそれがある。]
2. 腸管狭窄のある患者 [腸閉塞、腸管穿孔を起こすおそれがある。]
3. 消化管潰瘍のある患者 [症状を増悪させるおそれがある。]
4. 副甲状腺機能亢進症の患者 [イオン交換で血中カルシウム濃度が上昇するおそれがある。]
5. 多発性骨髄腫の患者 [イオン交換で血中カルシウム濃度が上昇するおそれがある。]

【重要な基本的注意】

腸管穿孔、腸閉塞、大腸潰瘍があらわれることがあるので、高度の便秘、持続する腹痛、嘔吐、下血等の異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

【副作用】

便秘 4 件 (8.3%)、嘔気 3 件 (6.3%)、食欲不振、嘔吐、下痢が各 1 件 (2.1%)
いずれも消化器症状であった。

【作用機序】

ポリスチレンスルホン酸カルシウムは、経口投与により消化・吸収されることなく、腸管内ことに結腸付近で、ポリスチレンスルホン酸カルシウムのカルシウムイオンと腸管内のカリウムイオンが交換され、ポリスチレンスルホン酸樹脂としては何ら変化をうけることなしに、そのまま糞便中に排泄される。その結果腸管内のカリウムは体外へ除去される。

【特徴】

- ・ポリスチレンスルホン酸カリウム散剤の服用時のザラザラ感をゼリーにすることにより抑えている。
- ・服用時に水を必要とせず、水分制限をしている腎不全患者に、より適している。

【考察】

血清カリウム値を放置すると不整脈や心停止を起こすことがあり、6.5mEq/L以上になると、速やかに治療を行うことが必要になる。

治療には、摂取するカリウムの量をできる限り制限する食事療法と、余分なカリウムを体外に排出するための薬物療法がある。

薬物療法において、ポリスチレンスルホン酸カルシウムは40年余り国内で使用されている薬剤だが、アーガメイトゼリーはポリスチレンスルホン酸カルシウムを含有するゼリー剤であり、散剤のザラザラ感を抑えた製剤である。

高齢者の嗜好型剤の半数はゼリー・ヨーグルト・プリンなどという点からも服薬コンプライアンスの改善が期待される薬剤であると考えられる。